

ActiveInspire 及び Active Board の使い方 Ver.1.01

Step ① : Active Board (以下 AB) をスタート



図 1. コントローラー

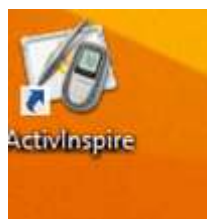


図 2. AB プロジェクター部



図 3. 主電源ボタン (左側面)

- 1) ActiveInspire がインストールされている PC を立ち上げ、ソフトを立ち上げる。



(Disk Top 上の ActiveInspire のアイコン)

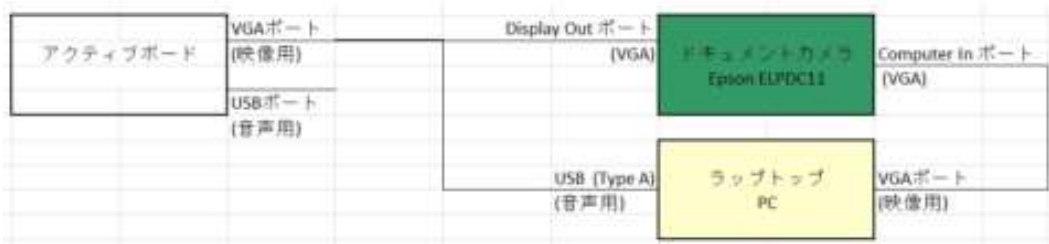
- 2) AB のコントローラー (図 1) をプロジェクター部 (図 2) へ向けてから、コントローラーの Power ボタンを 2 回押す。(AB の電源が入るはず。もし入らなければ左側面の主電源ボタンを押して、この操作をもう一度行う。)

Step ② : AB、PC を接続する (ドキュメントカメラを使わない場合)

- 3) Active board の VGA コード (映像用)、USB コード (音声用) を PC の VGA ポート、USB ポートへ差し込む。

注) もしドキュメントカメラ (以下 DC と記す) を接続したい場合は、次のステップのように接続します。DC11 と DC06 では接続方法が異なります。

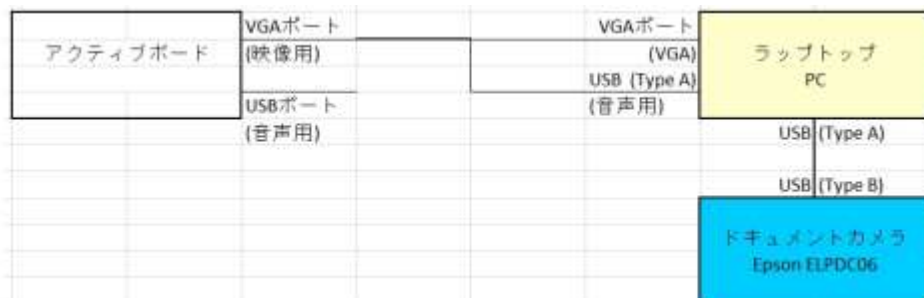
Step ②' : AB、PC、DC を接続する (DC11 の場合)



- ABのVGA出力ポート(映像用)はDC11へ接続
- ABのUSBケーブル(音声用)はPCへ接続
- DCとPCはVGAケーブルでつなぐ(PCの画像は、DC経由
ABへ送られる)
- AB上の映像は、DCのスイッチで、DCかPCの画像を選択
- DCの画像の遅延が少ない



Step ②” : AB、PC、DC を接続する (DC06 の場合)



- ABのVGA出力ポート(映像用)とUSBケーブル(音声用)をPCへ接続 (DC06にUSBポートしかない為)
- DCとPCはUSBケーブル (Type A-Type B)でつなぐ (DCの画像は、PC経由ABへ送られる)
- AB上の映像は、PC上で、DCかPCの画像を切り替える。
- PCには、DC06用のソフトをinstallしておき、使用時には起動させる必要がある。
- DCの画像は遅延する。

DC06 用のソフトの起動の仕方

- ① Desk Top 上の「ArcSoft Application」を押す



- ② Pop up window の「キャプチャ」をおす。



- ③ Pop up window に映像が映る。その映像が、DC06 が映しているものであれば、OK。
もし違う場合は、④の設定をする。



- ④ ツールバーのを押して、pop up window の「ビデオデバイス」のプルタブから ELPDC06 を選択す後、「OK」を押す。



⑤ ツールバーのを押すと、全画面表示となる。



↑ 全画面表示

注意 1 : AB は自動的に、PC を認識しますが、万一認識しない場合は、ケーブル類はつないだままにして、一度 PC 及び AB の電源を切ってください。それから、もう一度両方同時に電源を入れて下さい。その後 PC の ActiveInspire を起動して下さい。

注意 2 : もしペンの接続が悪い場合は、参照②の Calibration を行って下さい。

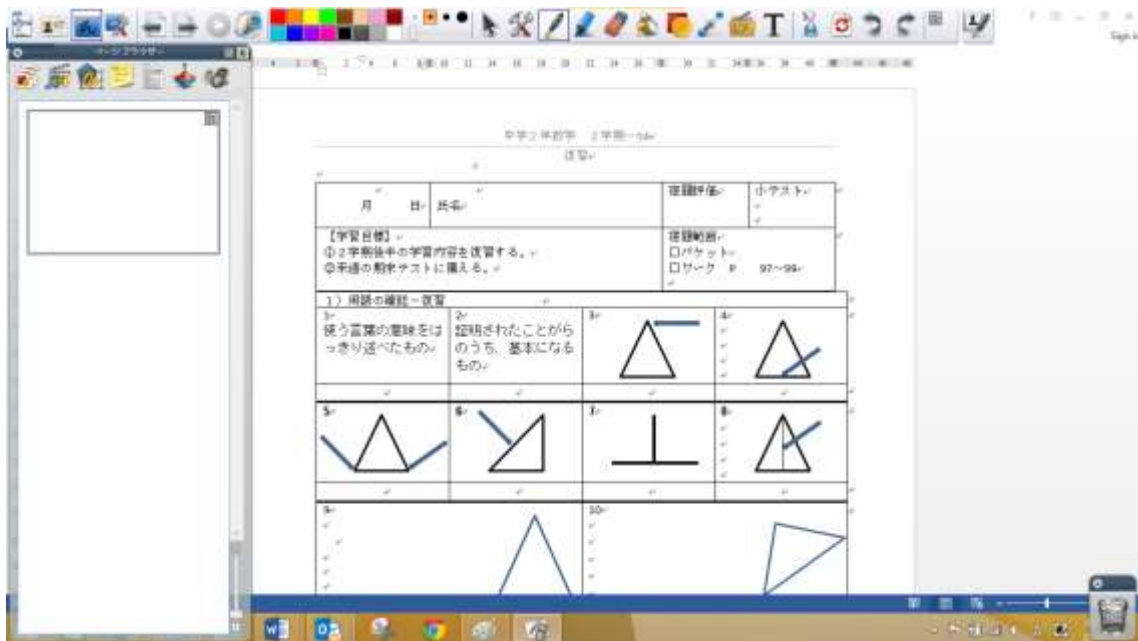
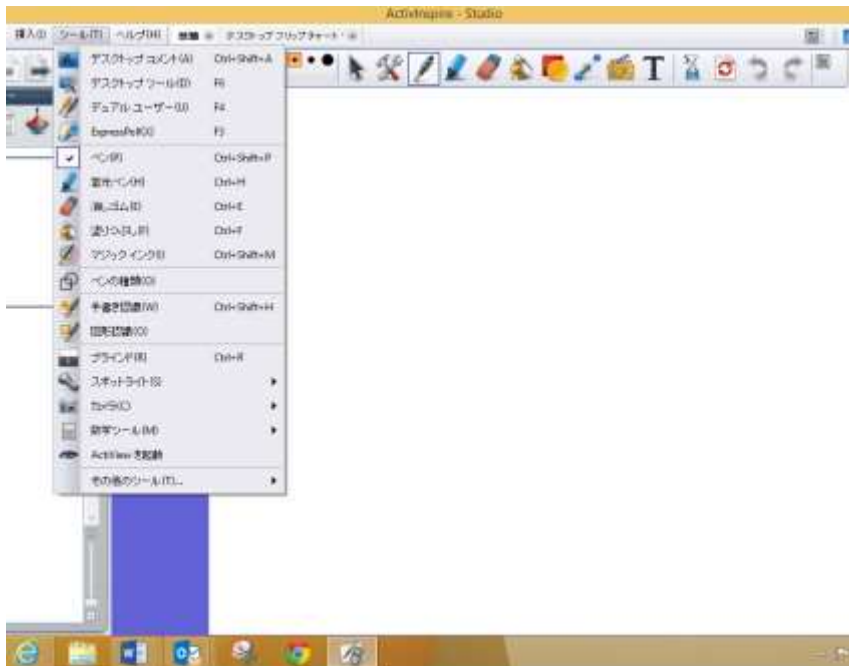
Step ③ : Word, Power point を AB で使用する

[Word 文章、Power point を直接 ActiveInspire プログラム上で表示する方法] (推奨)

- 1) ActiveInspire を立ち上げておく。
- 2) 表示したい Word 文章などを全画面で開いておく。

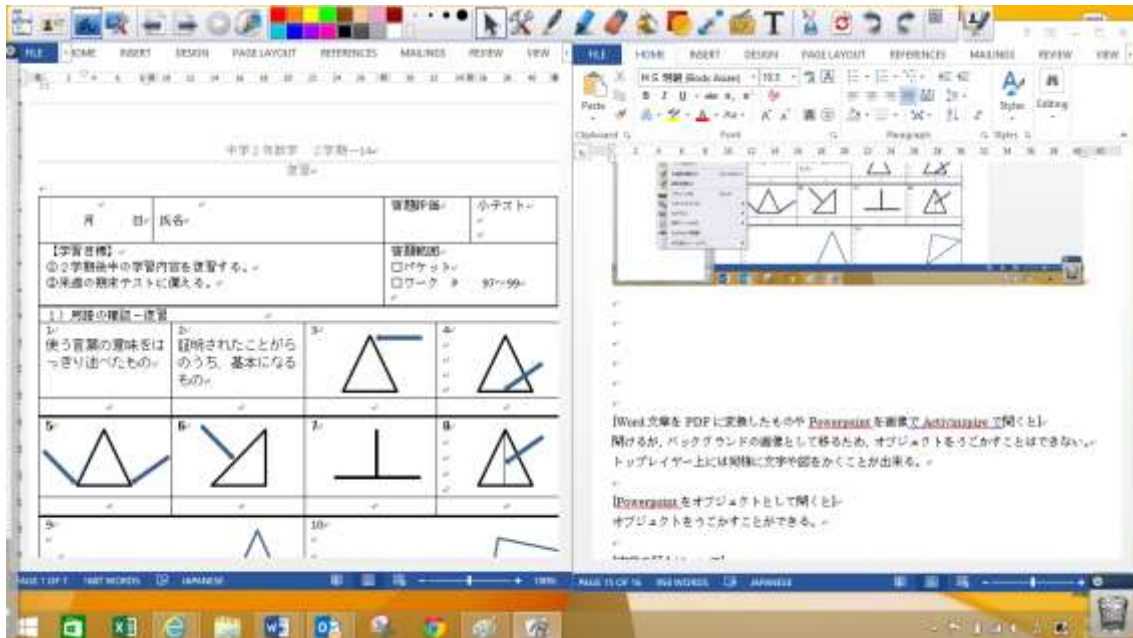


- 3) 下のツールバー上の ActiveInspire のアイコンを押し ActiveInspire の画面に変える。
- 4) ActiveInspire のツールバー上の「デスクトップコメント」を押す。



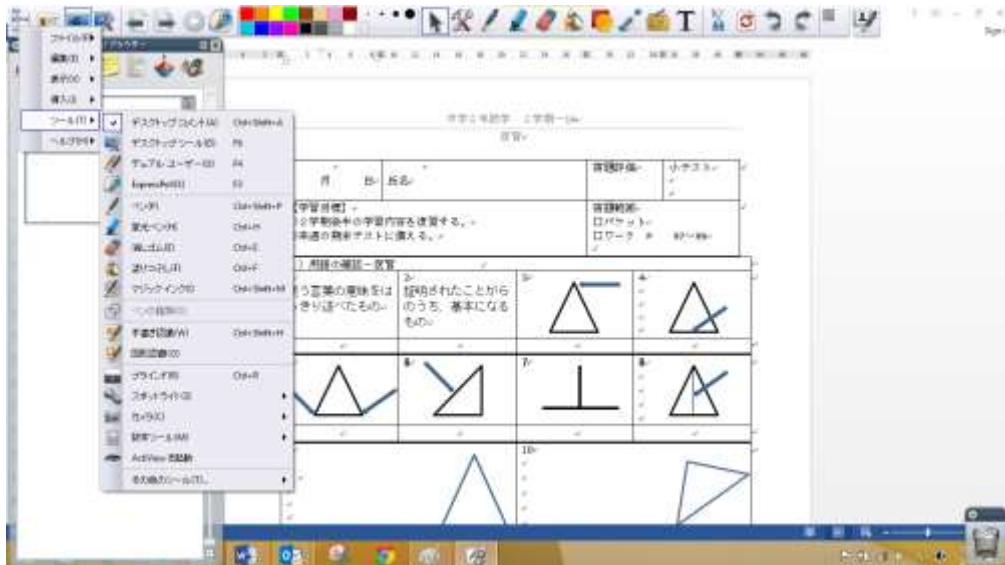
これにより、Word 文章、PowerPoint 上のオブジェクトを動かすことができる。通常と同じようにソフトは動かすことができる。さらにトップレイヤー上に図を書き入れたり、日本語認識ができる。

(参考) 2画面を同時に表示したいときは、desktop上で、windowを2つあけて並べておいて、同様にすれば、2画面をactiveinspire上で表示することができる。

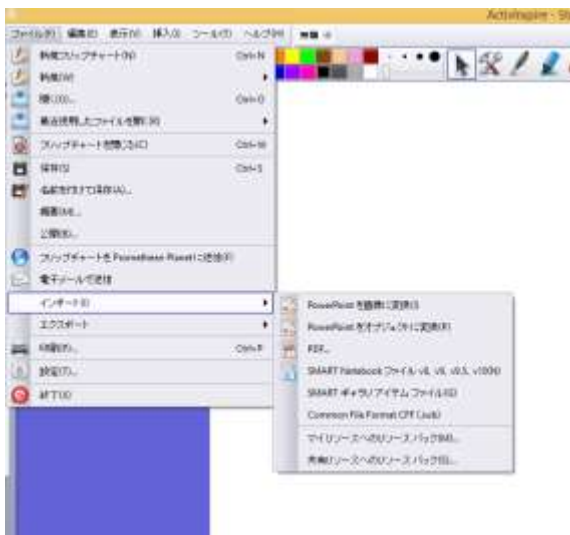


(参考) 同様に、コンピューターにドキュメントカメラをつないで、これでドキュメントを映し出し、この画像上のレイヤーに同様に図解や絵を書き入れることができる (DC06 の場合のみ?)。これは web でも同じ。

5) 作業終了後、再度「デスクトップコメント」を押すと解除できる。



[PDF ファイル、Power point ファイルを、ActiveInspire でインポートして開く方法]



- 1) Power point ファイルを画像に変換して開く場合や PDF ファイルを開く場合
ActiveInspire 上で、バックグラウンドの画像として映るため、オブジェクトを動かすことはできない。ソフトとして動かせない。トツプレイヤー上には同様に文字や図をかくことは出来る。
- 2) Powerpoint をオブジェクトに変換して開く場合
オブジェクトをうごかすことができるが、ソフトとしては動かせない。

Step ③' : その他 (ActiveInspire の使い方)

[文字、絵の記入について]

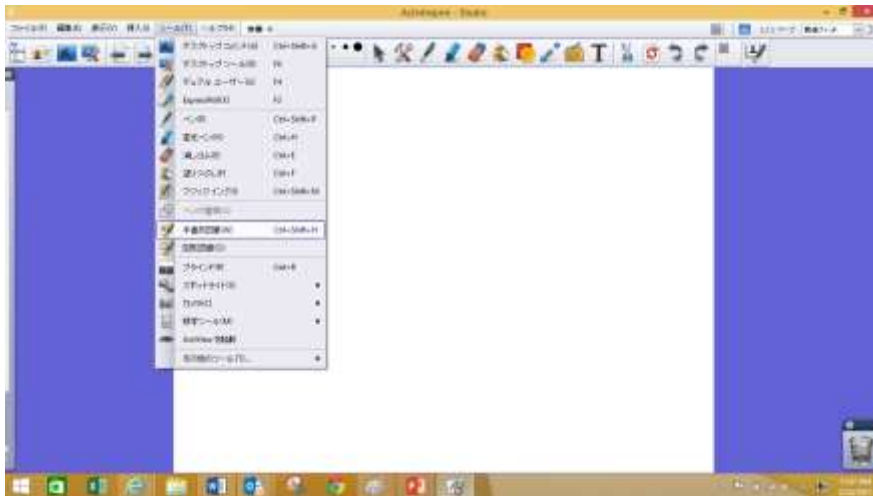
AI のツールバー上の  を押して、ペンを使えば、記載はできる。(線を細くするときには、
 の小さい円を選ぶとよい、あまり精度がいいとは言えない。)



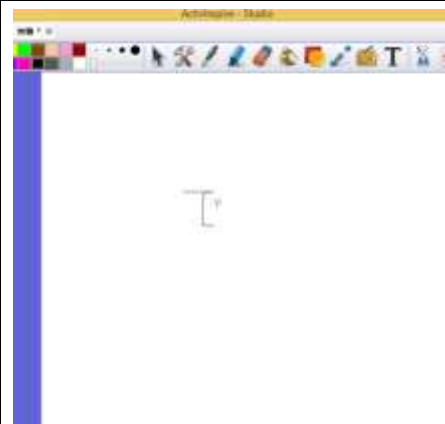
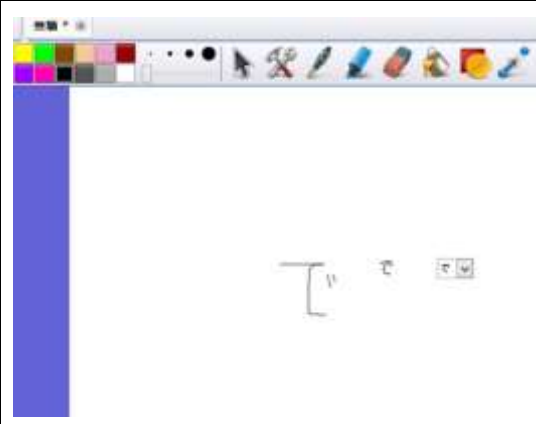
【文字認識について】

- 1) AI のツールバー上の「ツール」をクリックし、pop up window から「手書き認識」を選ぶ。
- 2) AB 用のペンを使って文字を書くと、自動的に認識してくれる。漢字、ひらがな、英語の認識はかなりの精度できれいにできる。数学の文字認識はない。

注) もし漢字、ひらがなを書いても、日本語として認識してくれない場合、参照 1・2 を見て、日本語認識ができるように設定します。



例) 「で」を認識させた場合

 ↑ 「で」を手書きする。	 ↑ 「で」と自動的に認識される。
---	--

【ActiveInspire は 1 名のみペンで入力可能】

Step ④：ABを終了させる

- 1) AB のコントローラー（図 1）を AB のプロジェクター部分（図 2）に向けて、AB コントローラー上の **Power** ボタン（緑色）を 2 回押す。そうすると AB の電源が切れる。
注）AB の左横の主電源ボタン（図 3）は切らない。時間が経つと自動的に切れる。
- 2) AB の VGA ケーブルに忘れずにアップルのアダプターを取り付け、下の図のように AB にかける（床に置いて踏みつけるのを避ける）



ケーブルの戻し方

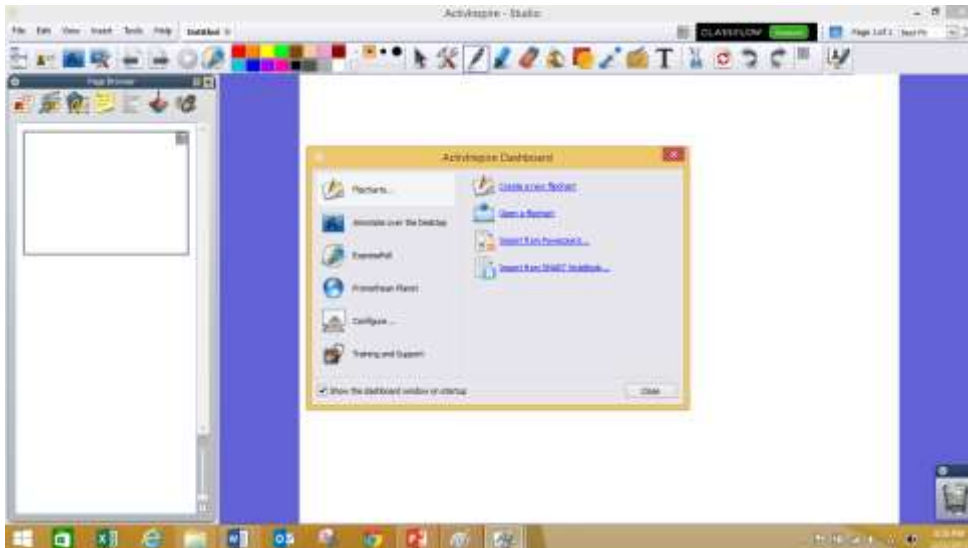


AB 用ペンの戻し方

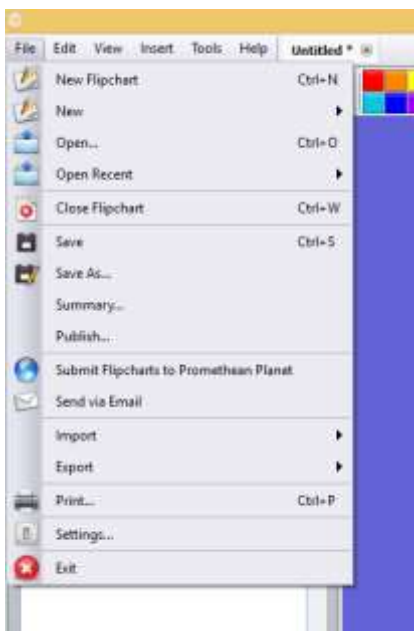
- 3) AB 用ペンは、上の図のように AB 左側面に取り付けておく。
- 4) AB コントローラーは、AB の近くのわかる位置に戻す。
- 5) PC は通常どおり、プログラム終了し、shut down する。

参照 1-1 : AI のメニューを日本語表示にする

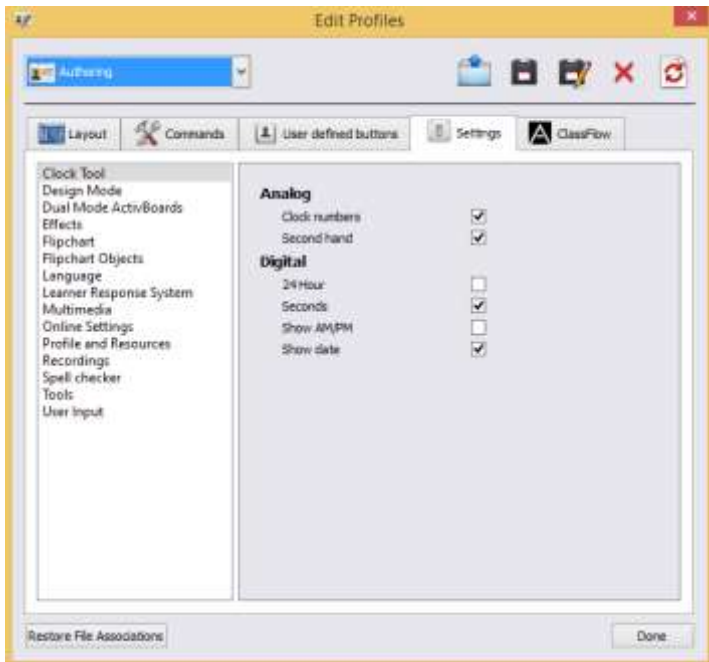
1) AcitiveInspire を立ち上げる。



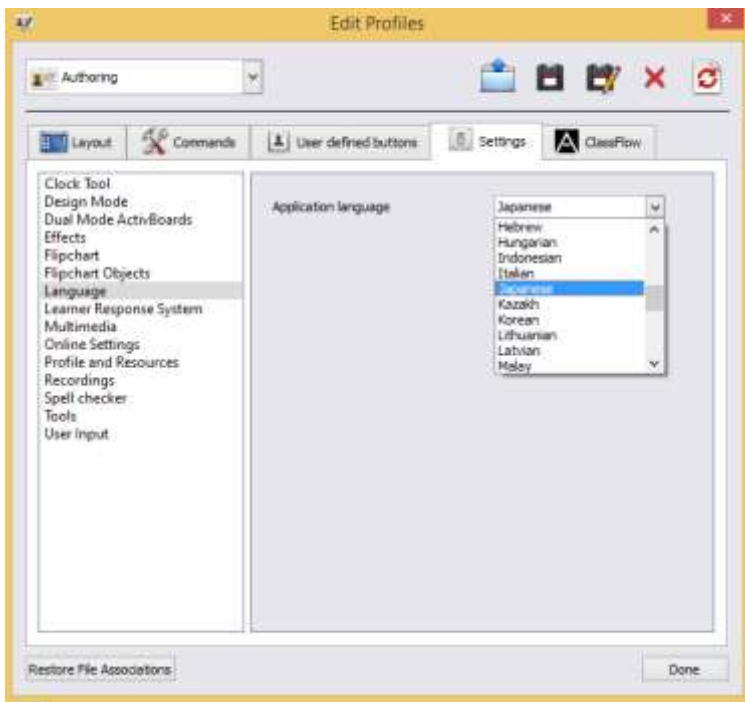
2) file の下の setting を押す。



3) pop up window の左側 Box より Language を選ぶ。



4) Application language の欄で、Japanese を選ぶ。

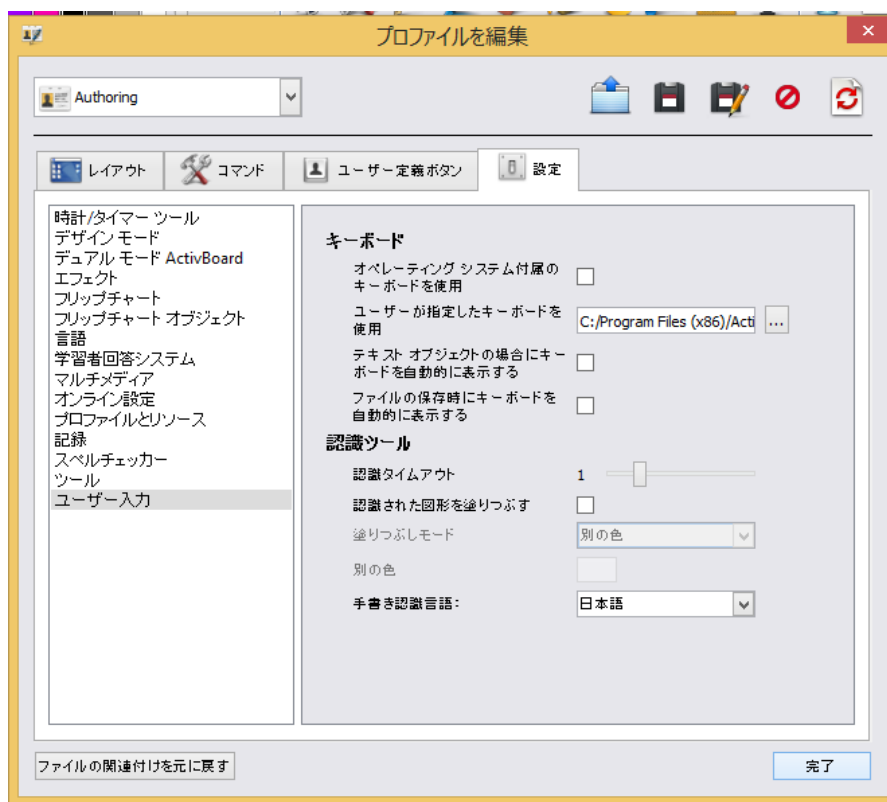


5) Done 後、一度プログラムを閉じて、再度プログラムを起動。すると日本語表示となる。



参照 1-2 : AI の文字認識を日本語にする

1) ファイルの下ของผู้输入を押して、pop up window で手書き認識言語が「日本語」になっていることを確認。なっていないければ、プロタブから「日本語」を選ぶ。

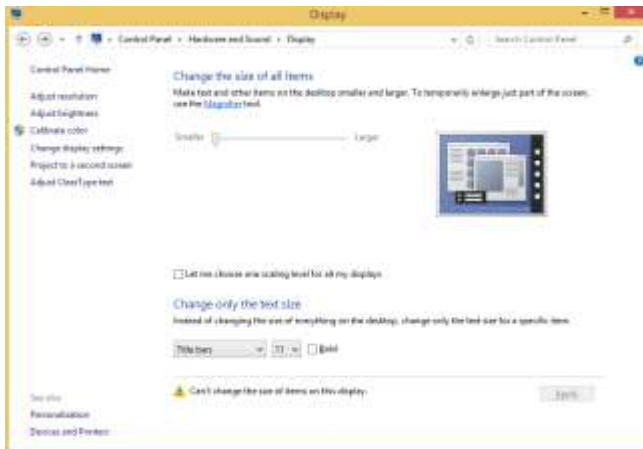


3) 完了を押す。

参照 1-3 ; その他、AB を使う上で確認すべき設定

1) Project が Duplicate になっていること

① Control Panel¥Hardware and Sound¥Display で Project to second acreen を選ぶ。

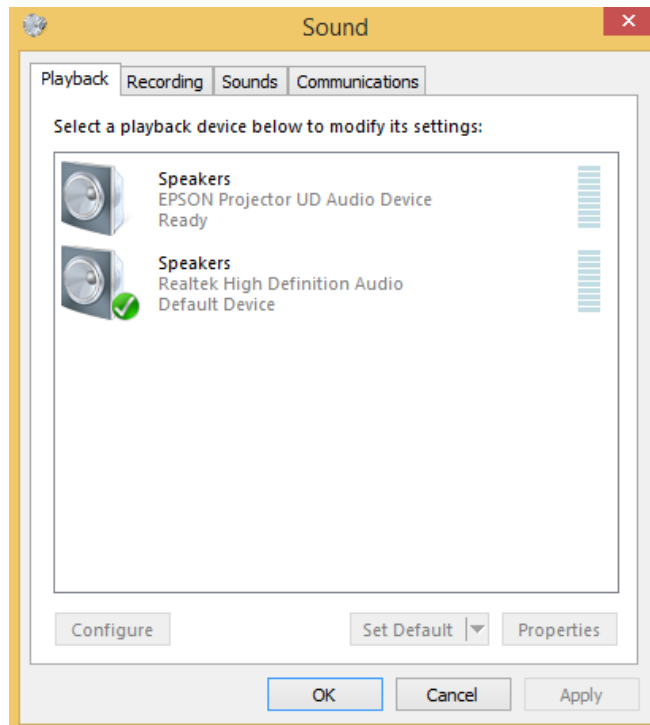


② Duplicate になっていることを確かめる。

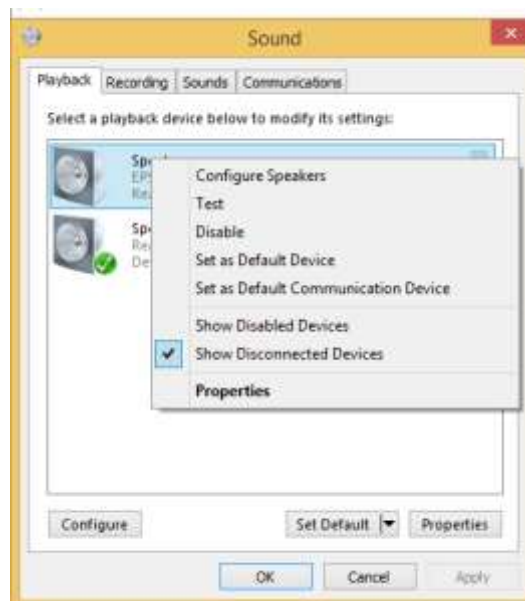


2) Speaker の設定で、USB Audio が Default Device になっていること

① Control Panel¥Hardware and Sound で「sound」を選ぶ。



- ② USB Audio のところにマウスを置いて右クリックして、pop up window から「Set as Default Device」を選ぶ



参照 2-1 : AB の Calibration の仕方 (正確に)

以下のいずれかの方法で、calibration をして下さい。

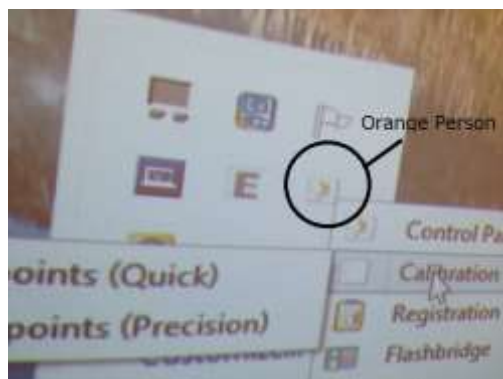


図 4 . PC の右下ツールバーの△から”orange parson”を選択
図 5 . AB 左上の ActiveInspire のマーク

<PC 上から calibration する方法>

- ① PC の右下ツールバーの△から” orange parson” を選択。Pop up window の「Calibration」・「25points」を選ぶ。
- ② AB 上に、calibration 用の点が 25 個現れる (図 6) ので、この点の中心を AB 用のペン (図 7) で押す。

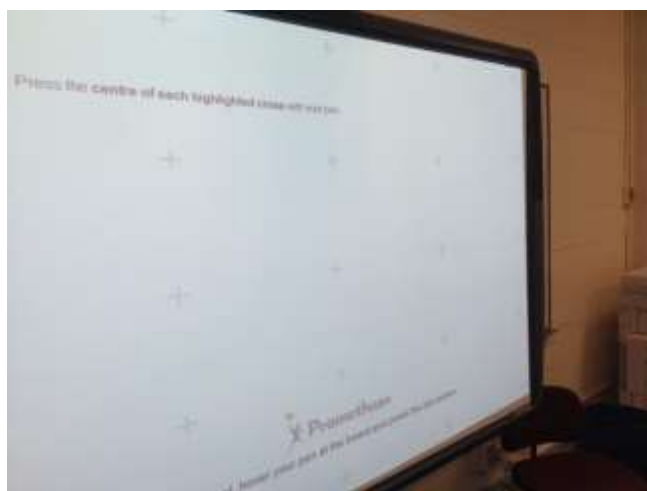


図 6 . AB 上に現れた calibration 用の 25 点



図 7 . AB 用ペン

<AB 左上の ActiveInspire のマークを用いる方法>

- ① AB 左上の ActiveInspire のマーク（図 5）を AB 用ペンで長押しする。
- ② AB 上に、calibration 用の点が 25 個現れる（図 6）ので、この点の中心を AB 用のペン（図 7）で押す。

参照 2-2 ; AB の Calibration の仕方（ラフに）

上述の 25 点の calibration は 1 か月に 1 回程度の頻度でいい。通常使用していて、ペンの位置がずれるときは、再 calibration するが、その際は、「4 points calibration」を選んで行う。

- ① PC の右下ツールバーの△から”orange parson”を選択。Pop up window の「Calibration」 - 「4 points」を選ぶ。
- ② AB 上に、calibration 用の点が 4 個現れるので、この点の中心を AB 用のペンで押す。

以 上